

第【1】学年 教科【音楽】担当【 】

1 学習目標

・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
 ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 使用教科書・教材

- (1) 教科書「中学音楽1 音楽のおくりもの」(教育出版)
 (2) 副教材「音楽のハーモニー 1年」「My Song」(教育芸術社)

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容(教科書項目名)
1学期(4～7月)	春、夏の思い出、夏の日の贈りもの	無理のない自然な声の出し方で歌う 弦楽器の豊かな表現を観賞する 曲の形式を生かして歌う
2学期(8～12月)	魔王、赤とんぼ、合唱祭	歌曲の形式の違いを観賞する 音楽のまとまりを生かして合わせて歌う
3学期(1～3月)	箏曲「六段の調」、ソーラン節、 日本とアジアの声によるさまざまな 表現 器楽「箏」	箏曲の多様な表現を観賞する 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の 諸民族の音楽を観賞する 箏の基本的な奏法を身に付ける

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについての理解 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりをについての理解 箏の音色と奏法との関わりについての理解 箏の基本的な奏法の技能取得	定期考査 練習の様子 実技テスト
思考・判断・表現	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する 曲や演奏に対する評価とその根拠や、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く	定期考査 発言内容、ワークシート 実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現・器楽表現を創意工夫する学習や観賞の学習に主体的・協働的に取り組んでいる	授業、提出物、練習、実技テスト取り組みの様子 ワークシートの記述内容